

ファシリテーター用シート

子育て世代(乳幼児期～小学生期)対象プログラム展開例

テーマ	みんなが笑顔で過ごすために ～個に応じた支援や学びの場について考えよう～
-----	---

ねらい	こどもが楽しく生き生きと生活を送るためには、得意なことや苦手なことに気づき、その特性を理解し、適切な支援が必要であることを知る。また、様々な学びの場や相談機関があることを確認する。
-----	--

ワーク1

こどもが、家庭・学校・地域において、笑顔で過ごすためには、どうしたらよいか、どんなことに気を付けているかふりかえる。

- ・ 笑顔で学校や遊びに出掛けていますか。
- ・ 親子で話を聞く時間を設けていますか。

【想定される意見】

- ・ できる限りこどもの話を聞いている。
- ・ 休日、一緒に出かけている。
- ・ こどもと一緒にゲームをしたり、動画を見たりして、今何に興味をもっているか確認している。

ワーク2

こどもが、楽しく生き生きと生活を送るためには、特性を理解し、適切な支援が必要です。そのために、家庭でできることは？

気づきのポイント、多様な学びの場を確認する。

- ・ 参考資料に「気づきのポイント」があります。目安としてご確認ください。成長と共にできるようになることもあります。
- ・ 多様な学びの場について、参考資料の二次元コードをスマホ等で読み取り、学びの場を確認してみましょう。

【想定される意見】

- ・ 通級指導教室ってどんな教室だろう、どこの学校にあるのかな。
- ・ 特別支援学級の種類、特別支援学校の種類についてもう少し知りたいな。
- ・ 家庭でできる支援についてもっと知りたいな。

※ こどもが笑顔で生活することができるよう、大人も笑顔でありたいですね。
※ 誰でも得意なことや苦手なことがあります。いろいろな学びの場や相談機関があります。悩まずに相談してください。

本プログラムは、学校の特別支援教育担当や特別支援教育コーディネーター等と連携し実施することをおすすめします。

【進行例】

時間等		参加者の活動	進行役の活動 (発言・留意点など)
導 入	7分	アイスブレイキング ・ グループ分けをする。 ・ グループ内での自己紹介をする。	・ 4・5人のグループを作る。 ・ グループの代表者を決める。
	3分	テーマ、内容の確認 ルールとマナーの確認 ルールとマナー ・ 参加(積極的に参加)・尊重(意見の尊重) ・ 守秘(個人情報はお持ち帰らない)	・ テーマ・内容を伝える。 ・ ファシリテーターの見解に基づくアドバイスは避ける。
展 開	5分	話題提示 各自の意見 ・ ワークシートに記入する。 ※気付きのポイントは、この時間ではなく、家庭においてチェックするよう伝える。(この場で、チェックすることは控える。)	・ 「こどもが、笑顔で過ごすためには、どうしたらよいと思いますか、どんなことに気を付けていますか。」 ・ 「こどもが楽しく生き生きと生活を送るためには、特性を理解しながら、適切に支援することが大切です。家庭では、早めの気付きが大切になります。気付きのポイントを確認しましょう。」(参考資料) ・ 「多様な学びの場」について確認しましょう。(参考資料二次コードを読み取る。)
	10分	意見交換 ・ グループ内で各自が書いた意見を発表する。	・ 「グループの代表者を中心に、順番に発表しましょう。」 ・ 否定的な発言は、避けるようにする。
	(5)分	グループ発表 ・ 各グループの代表者が出された意見等を発表する。 ※ 省いてもよい	・ 各グループから出された、キーワードや参考となる意見を挙げる。
ふ り か え り	5分	ふりかえり ・ 話合いの感想や気付いたこと、参考となったことをワークシートに記入する。 まとめ ・ 参考資料の相談窓口や自校の特別支援教育の担当者や特別支援教育コーディネーターの先生を確認する。 ルールとマナーの確認	・ 参加者に感想を求めてもよい。 ・ ファシリテーターの意見が押し付けにならないように注意する。